

富永さんの不当解雇撤回！新賃金制度廃止！一方的な賃下げを許すな！会社は謝罪せよ！

沼崎製作所労働者の闘いに連帯しよう！ 1

洛南地域合同労働組合 京都府久世郡久御山町佐山37-1 【2002.5.27】

(電話) 0774-43-8734 (Fax) 0774-44-3102

元会社は不当解雇を撤回し、富永さんを
元の職場に戻せ！
新賃金制度廃止！

沼崎製作所の労働者の皆さん！地域の労働者の皆さん！沼崎製作所の労働者4名が、洛南地域合同労働組合に加入しました。洛南合労は、不当な懲戒解雇撤回、一方的な賃下げ撤回と新賃金制度の廃止、そして何よりも、安心して働き続けることができる労働条件をめざして、闘いを続けます。皆さんのご支援とご注目をお願いいたします。

新賃金制度を廃止しよう！

一方的な賃下げを許さないぞ！

(株)沼崎製作所(本社・久御山町、沼崎崇社長)では、昨年12月から新賃金制度として査定制が導入されています。

この会社の査定制度は、とんでもないものです。会社が、思いのままに労働者のランク(5段階)を決めることができます。そして最低の「Dランク」にされると、給料はわずか12万5000円になってしまうのです。いったい誰が、12万5000円で毎月生活できるのでしょうか？(「生活できる」と強弁しているのは、査定制導入を積極的に進めてきた、会社と中山労働組合長だけです。)

この会社の査定制とは、経営者達が言う「功績のある者が高い収入を得る」などというものではなく、「労働者の人件費を少しでも低く抑えるために会社が賃金を決める、それがいやなら辞めていけ」ということなのです。とても許すことのできないデタラメな制度なのです。

会社は、富永さんの不当解雇を撤回し、謝罪せよ

この会社で26年以上働き続けてきた富永修身さんも、Dランク(12万5000円)にされた一人です。「こんな賃金では生活できない。認められない」と会社に抗議したところ、3回にわたって懲戒委員会に呼び出され、職場での立ち話の内容を口実に「懲戒解雇」とされてしまいました。「いやなら辞めていけ、それでも辞めなければ懲戒解雇」と

いう会社のデタラメな姿勢が、よく現れています。

こんなデタラメな解雇は、今まで見たことも聞いたこともありません。富永さんは「解雇取り消しの仮処分」を、すでに京都地裁に申し立てていますが、こんな「見せしめ」解雇を平気で行った沼崎の経営者には、全沼崎従業員の前で謝罪してもらわなければなりません。そして、二度とこのような不当な処分は行わないこと、一方的な賃下げ・労働者いじめなどは今後一切行わないこと、などを確約させなければなりません。

洛南地域合同労働組合とともに闘おう！

労働者が50名弱のこの会社で、なんと8名がDランクとされ、そのうちすでに4名が「これでは生活できない」といって不本意ながらも会社を辞めていきました。しかし、沼崎製作所労働組合は、彼らを救済し会社と闘おうとはしませんでした。それどころか、富永さんら4名の組合員が「こんな賃金制度は不当だ。破棄すべきだ」と訴えると、追いつめられた組合執行部は、その4名を除名処分にしてしまいました。

富永さんら4名は、洛南合労に加入し、「解雇撤回」、「新賃金制度廃止」、そして「労働条件の向上」のために会社と交渉していくことにしました。

沼崎製作所の労働者の皆さん！今こそ、労働条件の向上・安心して働き続けられる職場づくりのために、洛南合労に加入し、ともに闘いましょう。

洛南合労は、こうした沼崎の労働者の闘いを、全力で支援していきます。

地域の労働者の皆さん！ご協力をお願いいたします。

* * *

労働者が、自分の労働条件の改善を会社に求めるのは、当然の権利です。そして、そのために労働者同士が団結し、労働組合に加入したり結成したりするのも、憲法や労働組合法などにも明記された、正当な権利です。組合への加入などを理由に不利益な扱いをしたり差別したりすることは、不当労働行為として禁止されています。

私たちの要求（団体交渉で扱う要求項目）

- 1．会社は、富永修身組合員の不当解雇を撤回し、謝罪せよ
- 2．新賃金制度を廃止せよ。12月度賃金以降の差額を支払え
- 3．今年5月14日の昼休みから午後の就業時間中に、従業員多数が辻・出島両組合員を取り囲み、脅迫・嫌がらせ行為を行った件に対して、会社は従業員に対する管理責任を認め、謝罪せよ

その他

会社は誠意をもつて団交に応じる！

団体交渉予定日時 五月三〇日（木）午後六時

場所 沼崎製作所構内